

令和5年12月22日(火) 地域住民の方も参加していただき、 川場村生活支援体制整備事業の会議が行われました。

生活支援体制整備事業とは…みんなで川場村の高齢者の生活を支援するために、
必要なひとやモノ・コトを整える事業です。

高齢者人口が増加する現在、地域での支え合いのまちづくりが国からも必要とされています。川場村では、自分の10年後、20年後、30年後…川場村でどう暮らしたいか？をイメージしながら、そのためには何があったらいいのか？どんなひとがいたら？など考える会議を、年に数回、委託先である川場村社会福祉協議会とともに実施しています。

- 今回の議題は、(1)川場村第9期介護計画に係るアンケート調査結果報告
(2)生活支援体制整備事業 視察研修報告
(3)意見交換会
(4)ボランティアセンターについて でした。

今回は、事業報告のほか、地域住民の参加も募り、『運転免許を返納した時の移動手段について』というテーマで、グループに分かれ意見交換会をいたしました。社協・行政・委員9名のほか、10名の村民参加がありました。県からのアドバイザーとして、高崎市生活支援コーディネーターの目崎智恵子氏・県社協の木村氏も参加し、活発な意見交換会ができました。





みなさんの率直な意見や困りごと、取り組みのアイデアや、他市町村での取り組みなどを知ることができ、大変充実した時間となりました。お忙しいなか、参加していただいた皆さん、本当にありがとうございました。

次回の開催予定は3月27日(水)となります。今回の内容を踏まえ、村民の皆さんと一緒に、引き続き川場村の生活支援体制について、考えていければと思います。川場村をよりよくしたい！という村民の方のご参加、お待ちしております。



<参加した方の意見・感想>

- ・人口が減少していくなか、公共交通機関がどこまでカバーできるのか心配されます。代替案についても考える必要があると思います。
- ・多くの意見を聞くことができ、楽しかったです。高齢者が暮らしやすい川場村になるよう、手伝えることがあれば、やっていきたいです。
- ・もし、自分が免許を返納したら・・・？改めて想像できた良いきっかけとなりました。自分にも無理のないようにできることを一つでもお手伝いしていけることがあると思います。そうした意識を持てるひとが増え、村全体がそうした意識の持てる村作りをしていけることが大切だと思いました。
- ・グループ討議ができて大変よかったです。
- ・今日のこれはこれでよかった。
- ・もっと多くの住民にこの会議に参加してほしい。

お問い合わせ先:

川場村社会福祉協議会 50-1122

川場村役場 健康福祉課 25-5074